



いわて・みやぎ・ふくしま No. 4 - 便り

2019年
7月30日発行

日本生協連
組合員活動部

7月の「いわて・みやぎ・ふくしま便り」をお送りします。

東日本大震災から8年が経ちました。これからも復興に向けて歩いていく被災地の皆さまに寄り添って、全国から支援活動を行っていきましょう。



ふれあいサロンは残り3か所に



いわて生協では、全国の生協のみなさまにご協力いただきながら、2011年6月から仮設住宅等でお茶飲み会「ふれあいサロン」を続けてきました。この8年間で3,591回実施し、のべ30,291人が参加しました。また、のべ16,000人のボランティアがこの開催を支えてきました。

6月26日には、陸前高田市の中田公営住宅会場の「ふれあいサロン」が最終回を迎え、お別れ会を実施しました。中田公営住宅会場は、もともと隣にあった「みなし仮設住宅」のアパートを会場に始まり、災害公営住宅完成後はその集会室で実施してきました。団地の自治会も動き始めたので終了することになりました。

お別れ会には、岩手県の民謡歌手・タレントの中川愛子さんもボランティアで参加し、民謡や楽しいトークで楽しませてくれました。参加者の中には、これまでのサロンで作ったネックレスを身に付けてきたり、これまでに作ったものを持ってくる方もいらっしゃいました。参加者からは「家族を亡くしたが、ふれあいサロンで話しをすることで気持ちも晴れたし、友達もできた」「毎回待ち遠しかったのでちょっと寂しくなる」などの声が出されました。また、8年間この会場の開催を支えてきたボランティアからは「少しずつ笑顔を取り戻され、最後はみんな楽しく笑いあえました。ボランティアが地元の人ではないから、いろいろ話すこともできたのだと思う。これからは遠くから見守りたい」の声が出されました。

最も多い時には月に79回実施していた「ふれあいサロン」も、復興が進み、仮設住宅が減少したことから、7月以降は陸前高田市2会場、大槌町1会場の3会場だけとなります。



(みんなで歌を聴いている様子)



(写真中央が中川愛子さん)



気仙沼市の震災遺構を訪問しました



みやぎ生協では、宮城県沿岸部を中心とした被災地を自身の目で見て学び、震災を伝え支援や防災を考えるための企画を実施しています。

6月22日、小学生・高校生各1名を含む41名のメンバー（組合員）が、「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」などを訪問しました。今年3月に開館したばかりのこの施設への関心が高く、100名を超える申し込みがありました。

「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」は、津波により校舎4階まで浸水被害を受けた気仙沼向洋高校の旧校舎を伝承施設として整備したものです。震災当時、生徒や教職員は、校外の高台や内陸部、校舎屋上などへ逃げて無事でした。語り部のお話や映像のほか、当時のまま残された校舎内部の様子から、被災した時の状況が生々しく伝わり、地震への対処法も学ぶことができました。

参加者からは「津波の恐ろしさを改めて実感した」「日頃から災害に備える気持ちが大切だとわかった」などのほか、「次世代に伝えていかなければならない」との声が多数寄せられました。



（気仙沼向洋高校旧校舎の3階の様子）



（屋根が流出した屋内運動場と周辺の復興工事の様子）



（震災前の屋内運動場の様子）



被災された方々の手作り商品販売に取り組んでいます



被災された方々の手作り商品を紹介している「とうほくてしごとカタログ FUCCO」は、掲載商品を委託販売する取り組みを強めています。

仙台駅前の商業施設兼オフィスビルの「アエル」1階では、定期的に行われている「古今東北」（東北の食材や加工品を展開するブランド）販売会の一角で、6月末からFUCCO掲載商品の販売を開始しました。一部日程では、手作り団体のみなさんも売り場に立って商品の説明などを行いました。この販売会は、毎月末週の火曜日から4日間程度開催されています。宮城にいらした際にはぜひお立ち寄りください。

また、6月25日～26日にはみやぎ生協こ～ぷ文化鑑賞会のコンサート会場にて、6月30日には仙台市市民活動サポートセンターの20周年記念イベントなどで販売を行い、多くの方にFUCCOの取り

組みを知っていただき、売り上げにつなげることができました。みやぎ生協では、今後も販売やカタログ配布ができる場を広げていきます。



(仙台駅前での「古今東北」販売会の様子。中央にFUCCOの手作り商品の販売ブースを設置しました)



(仙台市民活動サポートセンターでの販売の様子)



被災地視察と復興団地にて茶話会を開催～コープみえ～



コープみえより、組合員、役職員 7 人が福島県を訪問されました。浜通りの被災地を視察し、公営住宅でのふれあいサロンに参加して、公営住宅に暮らす皆さんと交流を深めました。

7月 17 日は、被災地視察をして頂きました。震災後、気になりながらも、今回ようやく福島に来られたと話す組合員さんから「福島の被災地に来て感じること、思うことが沢山ありました」と視察後の感想がありました。

18 日は、福島市の県営復興公営住宅 北沢又団地大和田集会所で、コープふくしまが定期的に行っている茶話会「ふれあいサロン」に参加されました。お互いに自己紹介をした後、童謡『どじょっこ・ふなっこ』のメロディに載せた替え歌に合わせて、お隣さんの肩たたきをして緊張をほぐし、お茶会がスタートです。まず、長年読み聞かせ活動をされているコープみえの組合員さんが、「八郎」という絵本の読み聞かせをしてくださいました。「八郎」は創作民話で、大きくなりたいと願った山男の八郎が小山ほども大きくなって、その大きな体で波を食い止め、津波から村人や田畑を守るといものです。居合わせたみんなが、引き込まれるようにお話に聞き入っていました。

読み聞かせの後はおしゃべりタイム。皆さんでコープみえから頂いたお土産のお菓子をいただきながら、にぎやかなお茶会になりました。

また、自治会長さんから、写真を見ながらふるさと浪江町の被災の様子や現状のお話もお聞きしました。



(「八郎」の読み聞かせの様子)



(参加者の集合写真)



こども保養プロジェクト (コヨット!) 活動報告

～山形県 天童温泉 湯坊いちらく～



開催日 2019/6/8 (土)～9 (日)

保養先 山形県 天童温泉 湯坊いちらく

参加者 8家族 (大人14名/子ども14名) 内スタッフ3名



(水遊びの様子)

1日目

・わくわくランド、道の駅

郡山、福島とも出発時は雨が降っていました。天候が心配でしたが、わくわくランド到着前に雨が上がり、暑くもなく、寒くもない、ほど良い天気になりました。お日様は出ていませんでしたが、中には噴水でずぶ濡れになって遊ぶ子もいました。原っぱは、直前まで降った雨でぬかるんでいて、ボール遊びは出来ませんでした。しかし、滑り台など遊具で遊ぶことはできました。また、親子で仲良く足湯に入った家族もいました。1時間ほど外遊びをした後、バスを降りる時にはぐずっていた子が、帰りには「とても楽しかった!」と喜んでくれて良かったです。

また、道の駅がリニューアルオープンしていました。以前の倍の面積となり、従来の地元野や果物の他、お土産品売り場が充実していました。

2日目

・シベールファクトリーパーク見学、ぐっと山形で昼食



(工場見学の様子)

ラスク工場を見学しました。生産ラインがすべて稼働していたので、実際の工程をほぼすべて見ることができました。また、ガイドの方の配慮で、作家の井上ひさしさんの蔵書館(図書館)の他、シベールアリーナ(コンサートホール)の中を初めて見学させていただきました。楽屋まで覗くことができ、子どもたちは興味津々、そして舞台を飛び回っていました。

ぐっと山形で昼食をし、予定時間を20分ほど早く帰路につきました。今回、郡山から乗車した参加者がいわき3家族、会津若松1家族でしたので、少しでも早く到着できたことは良かったと思います。



こども保養プロジェクト (コヨット!) 活動報告

～猪苗代町 リゾート・インぼなり～



開催日 2019/6/29 (土)～30 (日)

保養先 リゾート・イン・ぼなり

参加者 10家族 (大人20名/子ども12名) 内スタッフ6名



(スタッフの皆さんで集合写真)

コヨット！を支援するこくみん共済 COOP（全労済）プレゼンツ「森の音楽会」は、3年目を迎えました。今年は、台風と梅雨前線の影響であいにくの雨模様となりましたが、子供たちは晴れた森の中を思い浮かべながら、美しい音色に聞き入りました。また、前日6月28日に行われた福島県ユニセフ協会15周年記念式典の参加者がゲストとして訪れ、とても賑やかな音楽会になりました。

1日目

・こくみん共済 COOP（全労済）プレゼンツ「森の音楽会」

キーボード&シンガー藤野恵美さん、口笛演奏の柴田晶子さんによる森の音楽会を開催しました。藤野さんは3度目、柴田さんは2度目の出演になります。世界大会で2度のチャンピオンとなった実力を持つ、柴田さんの口笛の響きと美しさに子どもたちは目を丸くしていました。みんなが参加するワークショップで、「きらきら星」「夢をかなえてドラえもん」を一緒に歌い、口笛の吹き方を練習しました。こくみん共済COOPのピットくん、郡山市のがくとくん・おんぶちゃんも登場し、楽しい音楽会となりました。最後に、飛び入りでルワンダの歌手マニ・マーティンさんが二人の伴奏でアメージング・グレイスを披露してくれました。会場は大きな拍手に包まれ、大感激のうちに終了しました。



(音楽会を楽しむ参加者たち)

音楽会の後、室内で車のキットをそれぞれ組み立てました。思いがけない工作に、娘さんが喜んでいただけたとの感想をいただきました。

ゲストの方たちと一緒に夕食会では、柴田さんから直接口笛の吹き方を習う子もいました。世界チャンピオンの直接指導とは、なんとお驚き！マニ・マーティンさんもルワンダの内戦を題材にした曲「Imbabazi」（許し）を歌ってくださり、歌詞に込められた背景と意味をマリールイズさんが詳しく解説してくれました。とても有意義な夕食会となりました。

2日目

・ピザ作り体験

雨が降り続いていたため、食堂を会場にピザ作り体験を行いました。生地を伸ばし、トマトや野菜、ソーセージなどトッピングをして出来上がり。かまどは外にテントを張り設営、やきたてのピザをおいしくいただきました。



(ピザの具材を準備をする様子)



(出来上がったピザを囲む様子)

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

百瀬

